

一月八日執行委員會を開催し前項の會見顛末を報告し、對策を練ることゝなつたのであるが、製鐵所長官より勞働條件の低下、福利施設の縮少を行はざる言明を得たりと雖も同黨のスローガンたる重要産業國營化主張の立場より合同反對を決議し、鐵聯、同志會、社大黨（~~青島~~）より各五名宛職夫勞働より三名の委員を以つて對策委員會を設け伊藤卯四郎氏を委員長とし統制ある運動に依り目的の貫徹を期することゝなつた。

3、第一回對策委員會開催

一月十日同志會、鐵聯、職勞、及び社大黨より各選任された委員出席の上、

a、役員を左の通決定

對策委員長

濱橋文作 (同志會)

全副委員長

横大路茂 (鐵聯)

會計

島津重藏 (鐵聯)

書記

奥村光男、篠原修

b、特別小委員會の設置

濱橋文作、横大路茂、島津重藏、伊藤卯四郎、石橋和市、の五名を以つて特別小委員會を組織し本問題は先づ其の議を経て對策委員會に諮ることゝなつた。

4、第二回對策委員會

一月十一日開催左の通決定

a、合同反對の具的理由別紙の通決定

b、運動方針として

1、懇談會開催（一月十六日十七日兩日）前製鐵所長官に會見し右合同反對理由を陳情すること

2、合同反對ビラ二萬二千枚を製鐵所各門に撒布すること（別紙の通り）